

杉並第七小学校

今日は何を読む？ワクワクがいっぱいの杉七図書館

今の学校図書館

館内は、季節を感じさせる装飾と、パールオレンジのカーテンが明るく柔らかな雰囲気をつくり出している。

校舎東側の端に位置しているが、休み時間には一番遠い西側端の教室からも、子供たちがやってくる。一人で静かに読んでいる子、数人で一冊の図鑑を囲んで驚きの声を上げる子。各々が自分に合ったスタイルで、本とのひとときを過ごす。

学習では、情報のインプットはもちろん、アウトプットする力も養成できるように取り組んでいる。

また、図書委員会児童による読書推進活動も盛んである。

学校図書館の運営

- ・学校図書館だよりやホームページにより、定期的な情報発信を行う。
- ・蔵書点検を毎年必ず実施、蔵書状況を把握する。
- ・学校図書館の三機能が十分に果たせる蔵書構築であることを念頭においた蔵書更新を行う。
- ・「図書の時間」では、テーマ読書や並行読書を行い、バランスの取れた読解力を育成する。
- ・子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供する。

1年間の主な活動

- ・全学年を対象とした利用指導(4月)
- ・読書イベントの実施(毎学期)
- ・図書集会(図書委員会、10月)



〈どくしよの木〉

特色ある取組

- ・チャレンジ読書:小学生のうちに読んでおきたい作品をレベルごとに20冊ずつ選定。クリアできた児童を随時表彰するとともに、表彰を受けた児童を学期末の全校朝会で表彰。
- ・全校児童参加による校内POPコンテスト(図書委員会)
- ・クラス対抗「読書の木に実をつけよう！」(図書委員会)
- ・しおりゲットチャレンジ:多読者へのしおりプレゼント(図書委員会)
- ・昔話サークルによるお話会の実施(全学年対象)。



〈チャレンジ読書の棚〉



〈杉七小
POP コンテスト〉



〈お話会の様子〉

これからの学校図書館

- ・学年を問わず、調べ学習を学校図書館の中で行う回数を増やし、児童が自分で必要な資料を見付け出す力を養成していきたい。
- ・タブレット端末に搭載されている「ようこそ図書館へ」の活用の推進を図る。
- ・朝読書を充実させる。
- ・マルチメディア DAISY 図書(「わいわい文庫」)を積極的に活用させる。